

中山間地に対応した軽トラック積載型自走式茶園管理機

中山間地域の狭い農道が多い茶園を通行できる軽トラックに積載が可能で、一人で安全に作業できる自走式茶園管理機

研究開発の背景

- 中山間地域においては狭い農道が多く、現在普及している乗用型管理機の搬入が困難。
- そのため、茶園の省力機械化の障害となっており、急激に高齢化と担い手不足が進む中山間地の茶業経営維持が難しい。
- そこで、狭小な道路でも運搬可能な軽トラックで運べ、傾斜地でも安全に一人で作業できる茶園管理機が求められている。

研究成果の内容

軽トラックに積載可能で、市販の可搬型茶園管理機を装着し、傾斜15°の茶園まで一人で安全に作業できる立ち乗り可能な自走式茶園管理機



軽トラックに積載できる

1人で作業ができる



従来の可搬型茶園管理機
(作業人員2人)



安全性を確保する機能を装備



積載時の自動停止装置
(特願2013-059309)



(特願2013-099899)

操縦盤の高さを
オペレータの身
節長に合わせて調
節できる



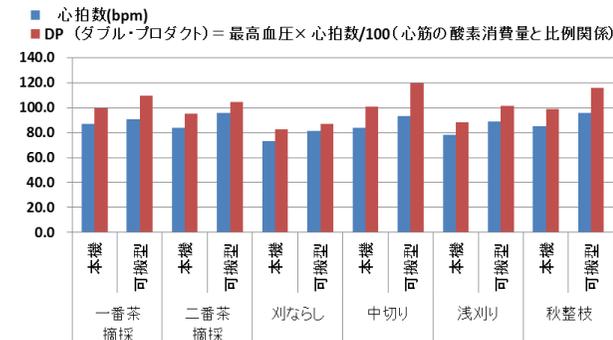
市販の可搬型茶園管理機が装着できる

期待される効果

- 中山間地における茶生産の省力・軽労化が図られる。
- 高齢化と担い手不足が進む中山間地の茶業経営維持に貢献できる。

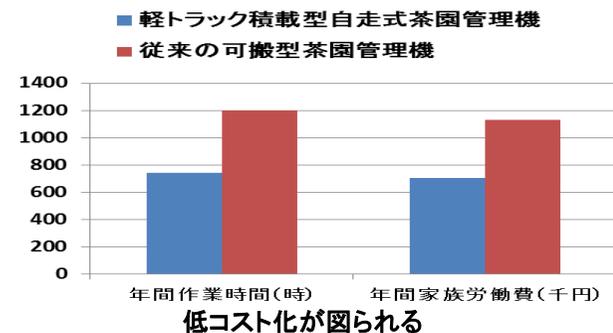
開発担当機関：佐賀県茶業試験場、フルタ電機株式会社

省力・軽労化が図られる



従来の可搬型管理機より、作業負荷が軽減される

作業時間と労働費の削減



低コスト化が図られる

導入効果

導入をオススメする対象
中山間地等の大型管理機が導入できない茶園を所有する茶生産者